

公益財団法人くまもと地下水財団の経営状況について

公益財団法人くまもと地下水財団の経営状況を説明する書類（令和2年度決算並びに令和3年度事業計画及び予算）を作成したので報告する。

熊本市長 大西 一 史

経営状況を説明する書類

第1 令和2年度決算

1 貸借対照表（令和3年3月31日）

（単位：円）

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	31,901,765	流動負債	16,266,700
現金預金	31,031,083	未払金	14,526,776
未収金	510,000	預り金	43,412
前払費用	360,682	賞与引当金	1,696,512
固定資産	410,511,777	固定負債	2,531,912
基本財産	50,000,000	退職給付引当金	2,531,912
特定資産	358,707,295	正味財産	423,614,930
その他固定資産	1,804,482	指定正味財産	52,691,514
		一般正味財産	370,923,416
合 計	442,413,542	合 計	442,413,542

2 正味財産増減計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

公益目的事業会計

（収入）

（単位：円）

大 科 目	中 科 目	金 額	説 明
経 常 収 益			
基本財産運用益		15,000	
	基本財産受取利息	15,000	基本財産預金利息
特定資産運用益		3,804	
	特定資産受取利息	3,804	特定資産預金利息
受 取 会 費		4,235,000	
	受取会費	4,235,000	民間事業者等の賛助 会員からの受取会費
受 取 負 担 金		39,730,551	
	受取事業費負担金	34,328,000	行政会員からの事業 費負担金
	受取運営費負担金	5,402,551	行政会員からの運営 費負担金
受 取 補 助 金		1,990,000	
	受取補助金	1,990,000	育水の森の間伐等に 係る県等補助金
受 取 寄 付 金		43,903	
	受取寄付金	5,000	民間事業者からの寄 付金
	募金収益	38,903	募金箱による収益
雑 収 益		1,706,764	
	間伐材売却益	1,706,764	育水の森活用事業に 伴う間伐材収益
経 常 収 益 計		47,725,022	
一般正味財産期首残高		325,358,488	
指定正味財産期首残高		51,642,400	
受取寄付金		1,049,114	
合 計		425,775,024	

(支出)

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	金 額	説 明
経 常 費 用			
事業費		50,141,729	
	人件費	19,647,758	職員等の給与等
	事業費	30,493,971	地下水環境調査研究 事業 5,563,995 地下水質保全対策事 業 2,449,724 地下水涵 ^{かん} 養推進事業 15,882,766 地下水採取・使用適 正化推進事業 6,597,486
経 常 費 用 計		50,141,729	
一般正味財産期末残高		322,941,781	
指定正味財産期末残高		52,691,514	
合 計		425,775,024	

法人会計

(収入)

(単位：円)

大科目	中科目	金額	説明
経常収益			
特定資産運用益		7,127	
	特定資産受取利息	7,127	特定資産預金利息
受取負担金		5,567,449	
	受取運営費負担金	5,567,449	行政会員からの運営費負担金
雑収益		1,650,540	
	雑収益	620	普通預金利息等
	間伐材売却益	1,649,920	育水の森活用事業に伴う間伐材収益
経常収益計		7,225,116	
一般正味財産期首残高		47,981,635	
合計		55,206,751	

(支出)

(単位：円)

大科目	中科目	金額	説明
経常費用			
管理費		7,225,116	
	人件費	4,860,525	職員等の給与等
	管理費	2,364,591	賃借料、通信運搬費、租税公課等
経常費用計		7,225,116	
一般正味財産期末残高		47,981,635	
合計		55,206,751	

3 事業実績

(1) 地下水環境調査研究事業

ア 地下水環境の現況把握のための調査研究

(ア) データベース拡充

- a 地下水位及び水質データの収集・蓄積
- b 防災井戸を利用した水位モニタリング調査

(イ) 地下水流動メカニズム解明のための研究

- a 地下水解析モデルの活用
 - (a) 水収支及び涵養量の推計
- b 継続的な地下水データ収集
 - (a) 江津湖湧水量調査
 - (b) 育水の森涵養量基礎調査

(ウ) 新規事業に対する基礎調査

- a 大津町矢護川地区・畑地区・真木地区及び益城町赤井地区の4地区における減水深調査

イ 地下水管理手法の検討

(ア) 熊本地域の地下水管理に係る審議

- a 学術顧問会議の開催（12月8日）

(イ) 地下水涵養量・水収支等の推計手法の総括（令和元年度・2年度）

(ウ) 財団計画の推進

- a 第1次中長期基本計画実施及び達成度の確認

(2) 地下水質保全対策事業

ア 硝酸性窒素等汚染物質に係る削減計画（行動計画）作成支援

(ア) 硝酸性窒素濃度シミュレーションモデル事業

- a 水道水源の水質調査事業 15か所（平成25年度～）

(イ) 市町村ごとの硝酸性窒素削減計画策定及び対策実施への協力

- a 硝酸性窒素削減計画策定対象地域に特化した基礎調査及び対策実施への支援

(a) 硝酸性窒素濃度シミュレーション結果や各種情報提供

- b 地質情報に基づく地下水保全対策の検討

(a) 地下水保全対策地図等の情報提供

イ 硝酸性窒素等汚染物質に係る削減対策の推進

(ア) 施肥の適正化の推進

a 土壌診断助成（合志市 106件）

(イ) 地下水質保全に寄与する農産物の流通等推進

(ウ) 熊本のおいしい地下水の広報と保全のための対策の検討

a 水質情報提供（水道水源の水質調査事業15か所）

b 熊本地域湧水状況調査

(a) 菊池地域の湧水12か所で水質調査を実施

熊本の湧泉研究会が昭和59年から平成4年に行った調査結果と比較

(3) 地下水涵養推進事業

ア 農林業等と連携した地下水涵養対策事業の推進

(ア) 涵養域における水田の保全

a 水田オーナー制度事業

(a) 大津町真木地区において実施（7企業・団体、4個人）

b ウォーターオフセット事業

(a) お米「地下水を育む米」仲介販売 2,988kg

(b) 賛同商品「匠の味噌」「えこめ牛」の消費拡大に向けた広報

(イ) 涵養域産農産物のブランド化推進

a ウォーターオフセット事業

(a) 賛同企業が「地下水を育む米」を使った味噌、塩麴^{こし}、甘酒を製造・販売

b 地下水クイズキャンペーンを実施（11月10日～12月10日）

ホームページから応募できるクイズキャンペーンを実施。賞品として地下水を育む農畜産物等をプレゼントし、ウォーターオフセットをPR（461名応募）

c 熊本市が実施した「くまもと水検定クイズ」に協賛し、賞品にえこめ牛を提供（えこめ牛400g×5名分 7月1日～31日）

(ウ) 水源涵養林等の整備・活用

a 財団所有の水源涵養林の間伐 3.0ha

(エ) 湛水事業の拡大

a 冬期湛水事業の拡大 31.5ha (令和2年度涵養量:約216.3万m³ (前年度から約13.5万m³の増加))

(a) 益城町津森地区において冬期湛水事業の実施 4.5ha (11月～3月)

(b) 大津町真木地区において冬期湛水事業の実施 12.8ha (11月～3月)

(c) 甲佐町目野地区において冬期試験湛水事業の実施 3.0ha (11月～3月)

(d) 西原村小野・滝・葛目地区において冬期試験湛水事業の実施 6.9ha (11月～3月)

(e) 御船町南田代第3・4地区において冬期試験湛水事業の実施 3.7ha (11月～3月)

(f) 大津町矢護川地区において冬期試験湛水事業の実施 0.6ha (2月～3月)

※ 協定の更新(令和2年度～6年度) 益城町津森地区、大津町真木地区

b 転作田での湛水事業の検討

イ 地下水保全施設の設置推進による地下水涵養対策事業の推進

(ア) 雨水浸透ます及び雨水貯留タンク設置推進事業実施市町村への補助

区 分	事業量	補助額
雨水浸透ます設置助成事業	6市町 23基	230,000円
雨水貯留タンク設置助成事業	7市町 41基	1,055,000円

(4) 地下水採取・使用適正化推進事業

ア 地下水保全活動の推進

(ア) くまもとの地下水ブランドづくりや財団の認知度向上に向けた広報活動

a 熊本日日新聞

(a) SDGs啓発記事に財団名とロゴマークを掲載(4月～11月に月1回)

(b) SDGs啓発記事において財団の事業を紹介(12月30日)

- (c) 令和2年度地下水保全顕彰制度、認定団体を紹介（3月16日）
- b 読売新聞において地下水クイズキャンペーンの広報（11月27日）
- c ヤフーディスプレイアドネットワークにおいて広報啓発（11月10日～12月10日）
- d くまもと経済（8月号、11月号、12月号、3月号）
- e 市政だより8月号において水田オーナー制度及び地下水保全顕彰制度を紹介
- f 情報紙くまにち すばいすにおいて地下水クイズキャンペーンの広報（11月12日）
- g FM791子ども新聞7月号において水田オーナー制度、ウォーターオフセット及び地下水倶楽部を紹介
- h 窓口モニター画面において啓発動画放映
 - (a) 熊本中央郵便局（熊本市中央区）（4月1日～11月30日）
 - (b) 各区役所（5月1日～31日、11月1日～23日）
- i J:COMチャンネル「クローズアップくまもと」
 - (a) 地下水保全顕彰制度認定書交付式の模様を放送（11月）
 - (b) 水田オーナーの収穫の模様を放送（2月）
- j 銀染コアビルにおける啓発用懸垂幕の掲示（4月1日～9月1日、1月8日～2月28日）
- k 会報誌等
 - (a) 育水会キッズ・学生会員向け会報誌「地下水倶楽部」（5月）
 - (b) 会報誌（第16号、3月）
 - (c) ホームページにおいて地下水情報リンク集サイトを新設（3月）
- (イ) 地下水保全意識の向上
 - a 地下水保全顕彰制度の実施
 - (a) 地下水保全顕彰制度認定書交付式の開催（令和元年度認定分：7企業・団体 10月20日）
 - (b) 令和2年度顕彰制度
募集（9月10日～11月10日、5企業応募）
第8回地下水保全顕彰委員会による選定（1月26日、シルバー2企

業、ブロンズ2企業1団体の全5企業・団体)

b 育水会の充実

(a) 育水会キッズ・学生会員向け会報誌「地下水倶楽部」(5月)

(b) 地下水倶楽部会員限定「水クイズ」(8月12日～31日)

c 地下水クイズキャンペーンを実施(11月10日～12月10日)

(ウ) 様々な水環境教育及び啓発活動の推進

a 「水道フェスタ2020くまもと」へのブース出展(11月21日)

b 市町村職員等を対象とした研修会を開催(8月17日、10月14日、
3月15日)

イ 地下水の適正利用の推進

(ア) 節水活動推進

a 県・市町村・水関連団体、企業と連携した活動

「水道フェスタ2020くまもと」へのブース出展(11月21日)

(イ) 量水器等設置助成及び普及推進

区 分	事業量	補助額
量水器等設置助成事業	3件 3基	325,000円

第2 令和3年度事業計画

1 地下水環境調査研究事業

地下水保全対策の効率・効果的な推進を図ることを目的として、地下水の水位及び質、涵養域の土地利用状況など地下水環境の状況について調査研究を行い、健全な地下水環境の維持・向上を図るとともに、必要な対策等の企画立案・円滑な実施に向けて地域の合意形成を図る。

- (1) 地下水環境の現況把握のための調査研究
- (2) 地下水管理手法の検討

2 地下水質保全対策事業

硝酸性窒素による汚染など顕在化する地下水の水質悪化に対応する発生源対策を進めるため、涵養域を中心には場の土壌診断を推進し、土壌の状況把握に努めるとともに、対策を必要とする市町村の硝酸性窒素削減計画の策定を支援することにより、安全・安心な地下水質の維持・改善を図る。

- (1) 硝酸性窒素等汚染物質に係る削減計画（行動計画）作成支援
- (2) 硝酸性窒素等汚染物質に係る削減対策の推進

3 地下水涵養推進事業

水田湛水事業等熊本地域の地質的特長を活かした涵養事業のほか、農林業と連携した地下水涵養事業を行う。また、雨水浸透ます等の設置助成を行う市町村に対し補助を行い、安定した地下水量の確保を図る。

- (1) 農林業等と連携した地下水涵養対策事業の推進
- (2) 地下水保全施設の設置推進による地下水涵養対策事業の推進

4 地下水採取・使用適正化推進事業

地下水に関する各種情報の収集及び財団事業や地域における保全活動の紹介等、地下水管理の必要性・手法・実践例等について広く周知を図るとともに、積極的な保全活動実践者を顕彰し、熊本地域の地下水保全機運の醸成を図る。また、地下水採取者に量水器や止水バルブの設置費を助成し、適正な地下水利用・管理の支援を行う。

- (1) 地下水保全活動の推進
- (2) 地下水の適正利用の推進

第3 令和3年度予算

公益目的事業会計

(収入)

(単位：千円)

大科目	中科目	金額	説明
経常収益			
基本財産運用益		15	
	基本財産受取利息	15	基本財産預金利息
特定資産運用益		3	
	特定資産受取利息	3	特定資産預金利息
受取会費		4,300	
	受取会費	4,300	民間事業者等の賛助 会員からの会費
受取負担金		41,610	
	受取事業費負担金	34,287	行政会員からの事業 費負担金
	受取運営費負担金	7,323	行政会員からの運営 費負担金
受取補助金		1,800	
	受取補助金	1,800	育水の森の間伐等に 係る県等補助金
受取寄付金		110	
	受取寄付金	100	民間事業者等からの 寄付金
	募金収益	10	募金箱による収益
雑収益		1,839	
	間伐材売却益	1,839	育水の森活用事業に 伴う間伐材収益
経常収益計		49,677	
一般正味財産期首残高		322,941	
指定正味財産期首残高		52,691	
合計		425,309	

(支出)

(単位：千円)

大 科 目	中 科 目	金 額	説 明
経 常 費 用			
事業費		56,098	
	人件費	19,198	職員等の給与等
	事業費	36,900	地下水環境調査研究事業 4,806 地下水質保全対策事業 3,040 地下水涵養推進事業 21,437 地下水採取・使用適正化推進事業 7,617
経 常 費 用 計		56,098	
一般正味財産期末残高		316,520	
指定正味財産期末残高		52,691	
合 計		425,309	

法人会計

(収入)

(単位：千円)

大科目	中科目	金額	説明
経常収益			
特定資産運用益		7	
	特定資産受取利息	7	特定資産預金利息
受取負担金		6,091	
	受取運営費負担金	6,091	行政会員からの運営費負担金
雑収益		1,661	
	雑収益	1	普通預金利息等
	間伐材売却益	1,660	育水の森活用事業に伴う間伐材収益
経常収益計		7,759	
一般正味財産期首残高		47,982	
合計		55,741	

(支出)

(単位：千円)

大科目	中科目	金額	説明
経常費用			
管理費		7,759	
	人件費	4,900	職員等の給与等
	管理費	2,859	賃借料、通信運搬費、租税公課等
経常費用計		7,759	
一般正味財産期末残高		47,982	
合計		55,741	

(提出理由)

公益財団法人くまもと地下水財団は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第

221条第3項の法人に該当するので、同法第243条の3第2項の規定に基づき、その経営状況について報告するものである。

